

## 日本学術会議国際政治分科会（24期・第8回）議事録

会議名： 日本学術会議国際政治分科会（オンライン）

日時： 令和2年7月10日金曜日午前10時30分から1時間半程度

アクセス方法： 以下のアドレスからアクセスしてください。

<https://join.skype.com/U6ZeP2x6Vqnw>

出席： 古城委員、大芝委員、羽場委員、竹中委員、山田委員、亀山委員、鈴木委員（7名）

議事：（1）前回議事要旨の確認

（2）今期のこれまでの国際政治分科会活動の総括

（3）今後の国際政治分科会活動について－『学術の動向』への投稿など

（4）その他

（1）前回の議事録要旨

以下の前回議事録を承認した。

日時：10月19日土曜日正午から1時間程度

場所： 新潟ホテル日航3F ラウンジ・ファウンテン

<https://www.hotelnikkoniigata.jp/restaurant/fauntain.php>

出席者： 大芝委員、山田委員、羽場委員、鈴木委員

議題：

1. 前回会合の議事録の確認

2. これまでの活動の報告： 2019年6月28日に京都大学国際シンポジウムホールにて開催した学術フォーラム「グローバル政策ネットワークと国際機関－東アジア通貨金融秩序を中心に」の確認

3. 今後の活動について： 2020年2月15日に名古屋大学環境総合館にて開催予定のシンポジウム「グローバル政策ネットワークと国際機関－地球と共生するためのガバナンスの在り方を模索して」の確認

4. その他

（2）今期のこれまでの国際政治分科会活動の総括

① 2020年2月15日に名古屋大学環境総合館にて開催したシンポジウム「グローバル政策ネットワークと国際機関－地球と共生するためのガバナンスの在り方を模索して」について、山田委員から、同シンポジウムは無事盛況のうち行われたという報告があった。

② 3月13日に予定していた分科会会合は新型コロナウイルス感染問題のため中止した旨の報告が鈴木委員からあった。

(3) 今後の国際政治分科会活動について『学術の動向』への投稿など  
下記の議題について議論し、『学術の動向』小特集の企画案を了承した。

1. 『学術の動向』の小特集(2万字)として、「グローバル政策ネットワークと国際機関」(趣旨は下記参照)という題材で実施してきた分科会共催のフォーラム・シンポジウムをベースに、それらの成果をもとに数本の論文(一論文5000字程度)を作成し、同誌に掲載する。

趣旨： 現今、グローバル化が進展する中で、経済変動、気候変動、伝染病、人口移動などのグローバル問題の深刻化が懸念されています。その一方、国家間対立やポピュリズムによって国際政治が機能不全に陥っている状況で、問題解決に向け、国際機関と国家行政機関を連携したグローバル行政ネットワークに対する期待が高まっています。学問においても、グローバル行政ネットワークを考察する思考の枠組として、脱政府間主義やグローバル行政法などが提示され、その実態、課題、国際政策協調の可能性などについての研究が進展しています。本企画では、このような前提に立ち、特定の国際政策問題に焦点を当て、関係分野の研究者、国際機関の代表者、専門家を糾合し、多角的に議論します。

2. 学術の動向編集委員会には、小特集の企画案を7月20日の締め切りを目指して提出する(原稿締め切り9月下旬)。それが難しいならば、来年1月の締め切りを目指す(原稿締め切り3月)。なお、委員の任期は9月末日までであるが、任期終了後も同誌へ投稿する権利を有する(確認済み)。

3. フォーラム・シンポジウムの責任者は、小特集論文の執筆者・論題の選定、編集委員会への企画案の提出、小特集の編集を担当する。

(4) その他

羽場委員から、シンポジウム(学術会議の他の分科会共催)が新型コロナウイルス感染問題で延期となり、今期の委員の任期が終了した後の2020年秋季に開催される予定であるというアナウンスがあった。

午後12時終了。

以上